最近の調査研究から

当社の定期刊行物に掲載された論文を紹介するコーナー

農林金融 2010年８月号

矛盾深まる中国の農地制度

(阮　蔚)

中国は急速な工業化と都市化の最中にある。都市化の進展は都市面積の急速な拡大を伴っているが、これは農村の土地を大量に都市用地に転換することを意味している。この転換は中国の土地収用制度が持つ根本的な欠陥によって、耕地の急速な減少を引き起こすとともに農家に深刻な経済的打撃をもたらすことになった。

今後も人口がさらに増える中国では、耕地面積の確保は国家の存亡にかかわる重要事項であるが、果たして食糧の安定供給に必要な耕地面積総量は確保できるのか。さらに、農家の土地権利を強化し、農家に経済成長の成果と土地価格上昇の利益を享受させることができるのか。土地をめぐる深刻な矛盾の解決が中国の社会安定と持続的成長にとって重要な問題となってきた。

グローバル・インバランス問題に関する一考察

(南　武志)

2007年にサブプライム住宅ローン問題が表面化する直前まで、世界経済は全般的に物価安定下での持続的な成長が続いたが、後から振り返れば、その水面下ではさまざまな不均衡が蓄積されたことが見て取れる。特に、米国における巨額の経常収支赤字の発生とそれをファイナンスする東アジアにおける経常収支黒字、さらには外貨準備の必要以上の積み上がりに代表されるグローバル・インバランス問題が、グローバル金融危機と深く関連していたと主張する意見は少なくない。

基本的に同問題が金融危機の直接的な原因とは言い切れないが、各国の経済構造の歪みが招いた結果でもあり、その是正策は必要だろう。ただし、その際にはバブルとデフレを引き起こした80年代の日本の経験を十分踏まえるべきである。

農林金融 2010年９月号

自己資本比率規制と地域銀行

(矢島　格)

自己資本比率規制が地域銀行の行動に与えた影響について実証的に検証した。具体的には、自己資本比率規制の貸出行動への影響について分析するとともに、今次金融危機で明らかにされた現行自己資本比率規制の問題点のうち検証可能と思われる銀行行動への影響についても分析した。

本稿の分析結果から、次の２点がインプリケーションとして指摘できる。

①自己資本比率規制強化によってキャピタル・クランチ（自己資本の減少が銀行貸出を減少させる現象）が起きる可能性を排除できない。

②現在提示されているバーゼルⅡ見直し案には、導入の必要性を必ずしも確認できない内容も含まれているので、見直し案の適用にあたっては慎重な対応が求められる。

日本の公的年金制度の現状と今後の方向

(鈴木　博)

公的年金制度は、全国民共通の国民年金制度と、厚生年金保険や共済年金からなる被用者年金制度の二階建ての構造であるが、皆年金体制下にある日本では、国民は公的年金への加入を義務付けられ、現役期間中は保険料を支払い、高齢になると年金を受け取る。

これまでは、国民年金保険料の未納者の増加や年金記録漏れなどが社会の関心を集めてきたが、本質的な問題は、少子高齢化が進行するなかで、世代間扶養(賦課方式)を前提とする現行制度が持続可能なのか、問題があるとすればどのように改革すべきなのかといった点にあろう。

本稿は、制度の持続性にかかる年金財政の分析を中心に、公的年金制度の現状と今後の改革の方向について考察したものである。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。

最近の調査研究から

当社の定期刊行物に掲載された論文を紹介するコーナー

農林金融 2010年８月号

小麦の国際需給と日本の自給

(藤野信之)

国際的な小麦需給は、米州等先進国から発展途上国への輸出というベクトル構造をもっている。

日本の輸入量は578万トンで世界輸入量の５％弱、国内需要量の86％（品目別自給率14％）を占める。作付面積は、米政策改革において適地適作化を促進する産地作り交付金制度を受けた転作が定着したこともあり、近年では堅調に推移している。

小麦の生産は、引き続き政策的な補助のもとに維持・拡大していく必要がある。構築された各地域の生産体制は、水田を中心とする集落を基盤とした地域農業という、日本農業の存続にかかっている。また、国内産小麦の価格、粗収益は一定水準を維持して、早期に輸入自由化した大豆と好対照をなしており、国内生産基盤の維持には国境措置の維持が重要である。

（外国事情）

・<講演> 中国農業・農村改革の到達点と課題

(中国共産党中央農村工作領導小組副組長・弁公室主任 陳錫文(Chen Xiwen))

1　農村改革の歴史的成果
- (1)　農業税の廃止　　(2)　直接支払の開始
- (3)　最低買付価格制度の創設
- (4)　農村の教育・医療インフラ整備
- (5)　農村社会保障制度の創設

2　三農問題への新たな挑戦と課題
- (1)　食糧安全保障の確立
- (2)　農村改革の一層の深化が求められる分野

3　農民の市民化

・成長が加速し始める中国の西部地域 (王 雷軒)

1　地域開発政策としての「西部大開発」戦略

2　プレゼンスが高まる西部経済

農林金融 2010年９月号

（外国事情）

・パラグアイの金融と協同組合

(田中久義)

1　パラグアイの概況
- (1)　共和国の概要
- (2)　パラグアイ経済の動向
- (3)　パラグアイの協同組合

2　パラグアイの金融
- (1)　パラグアイの金融機関
- (2)　パラグアイ金融の特徴

3　パラグアイの金融政策と協同組織金融機関
- (1)　金融政策の仕組み

4　金融政策の課題と協同組合金融の対応
- (1)　金融政策上の基本課題
- (2)　協同組合の対応

金融市場

2010年９月号

情勢判断

1　迅速な円高対策を催促し続ける金融市場
～強まる年度下期の景気失速懸念～

2　米FRBの金融緩和維持姿勢と金融市場

今月の焦点

1　欧州金融機関のストレステストと注目点

分析レポート

1　「ご当地ファンド」の特徴について

2　米国のCPI動向と金融政策

連載

1　中国の不動産価格の上昇率は縮小傾向へ

2　景気の先行指標①　在庫率指数

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。